

# 1. 調査報告概要表

## [認知症対応型共同生活介護用]

作成日 平成19年9月26日

### 【評価実施概要】

事業所番号	2772401895
法人名	社会福祉法人 まりも会
事業所名	グループホーム樹の実
所在地	枚方市春日北町4丁目1-20 (電話) 072-859-6117
評価機関名	社会福祉法人 大阪府社会福祉協議会
所在地	大阪市中央区中寺1丁目1番54号 大阪社会福祉指導センター内
訪問調査日	平成19年8月4日

### 【情報提供票より】(平成19年7月16日事業所記入)

#### (1) 組織概要

開設年月日	平成15年4月1日		
ユニット数	2ユニット	利用定員数計	18人
職員数	20人	常勤	9人, 非常勤 11人, 常勤換算 17.68人

#### (2) 建物概要

建物構造	鉄筋コンクリート 造り		
	2階建ての	1階 ~	2階部分

#### (3) 利用料金等 (介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	50,000円	その他の経費(月額)	30,000円
敷金	有( )円 無		
保証金の有無 (入居一時金含む)	有(200,000円)	有りの場合 償却の有無	有 / 無
食材料費	朝食	円	昼食 円
	夕食	円	おやつ 円
	または1日当たり 1,400円		

#### (4) 利用者の概要 (平成19年7月16日現在)

利用者人数	15名	男性	3名	女性	12名
要介護1	4名	要介護2	7名		
要介護3	3名	要介護4	0名		
要介護5	1名	要支援2	0名		
年齢	平均 85歳	最低	73歳	最高	97歳

#### (5) 協力医療機関

協力医療機関名	竹内クリニック、北川歯科医院
---------	----------------

### 【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

保育園と障害者施設を運営する法人が、卒園者の親の要望から4年半前に設立された2階建て2ユニットのホームです。「自分らしさを大切に生き甲斐のもてる暮らしを共に作りましょう」を理念に共に生きる関係づくりを目指しています。管理者が保育園の職員を長く勤めていた人であるため、知人が多く、地域との交流に生かすよう努めています。職員の中に非常勤の看護師がおり専門的な知識を活かして、職員への情報提供や教育を担当しています。ホームの窓やバルコニーから隣接の保育園の様子が日々見られ交流もあります。ホームの玄関には毎年つばめが巣を作っており、利用者は毎日その成長を眺め楽しんでます。

### 【重点項目への取り組み状況】

重点項目①	前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連科目:外部4)
	確実な申し送り、情報伝達については、介護計画に沿った個別ケアの記録や日誌など、1日3回の申し送りにより徹底するように改善しています。日々のケアも目標に沿って実践するように記録をしています。
重点項目②	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)
	自己評価は施設長(管理者)と副施設長(ケアマネジャー)で作成し、会議にて全職員とも協議しています。サービスの評価の意義や目的を確認しながら、共有していくことが期待されます。
重点項目③	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4,5,6)
	運営推進会議で提案された地域へ職員を講師として派遣した取り組みは先取的で、これからの発展が期待されます。自治会の回覧板をホームの情報を載せてもらうことが課題になっており、地域密着型サービスとして望ましい方向が示されています。
重点項目④	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7,8)
	玄関脇に意見箱を設置しています。調査時には2組の面会者があり、丁寧に納得がいくように対応している職員の姿や、家族の打ち解けた様子が見られ、家族との信頼関係が築かれています。ホームからは必ず月1回は文書でお知らせを送付すると共に小まめに電話による連絡をし、異変時の対応も適切で速いと安心されています。不安な事や健康面等すべてにおいて相談にのっています。また家族会の準備をすすめており、年1回開催する予定です。その時には、キャラバンメイトの講演や、病気についてのお話をしていきたいと計画しています。
重点項目⑤	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)
	近隣の農道を散歩して、野菜を頂いたりしています。商店や美容院とも馴染みの関係作りができて、気軽に声をかけて下さったり来訪されたりしています。自治会長や民生委員の方も運営推進会議の委員として、メンバーに加わっており行事の情報提供を受けたり、盆踊りに参加したりして交流を深めています。職員が地域で専門知識を活かしてキャラバンメイトとして講師を務めたり、地域の催事に役割を果たせるよう今後の取り組みとして計画中です。

## 2. 調査報告書

(        部分は重点項目です)

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>I. 理念に基づく運営</b>					
1. 理念と共有					
1	1	○ <b>地域密着型サービスとしての理念</b> 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	ホームの理念として「自分らしさを大切にし、生きがいの持てる暮らしを共に作りましょう」を職員全員で作りました。現在、地域密着型サービスとしての役割をもった内容になるように検討中です。	○	地域との関連性にも視点を置いて、理念を検討されることが求められます。
2	2	○ <b>理念の共有と日々の取り組み</b> 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	日常的に目に触れる場所である玄関に掲示し、職員、利用者、家族にも浸透するよう取り組んでいます。ミーティングや申し送りの際も業務が理念にあっているか確認しています。		
2. 地域との支えあい					
3	5	○ <b>地域とのつきあい</b> 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに務めている	管理者は同法人の保育園の職員であったため、地域の方々や卒園者、保護者とも面識があり、気軽に会話ができています。また利用者と公園や農道を散歩することで商店や理美容室などもなじみの関係作りができています。職員を認知症キャラバンメイトの講師として派遣し、また老人会のサロンから声かけがあれば利用者と共にも参加、協力をしています。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	施設長(管理者)、副施設長(ケアマネジャー、介護リーダー)、職員は評価の意義や目的を共有し、職員は各自が評価項目にそって自己評価表を作成するなど積極的に取り組んでいます。		
5	8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議は規定、規約を作成し2ヶ月に1度開催しています。会議録も整備されています。地域の回覧板の活用、外出願望の強い利用者には連絡先を縫いこんだ専用のポシェットを作成すること、また職員が講師として地域に貢献することなど提案が活かされ、実施に向かっています。また、事業所の取り組み内容や改善課題を職員間でも話し合っています。		
6	9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会づくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	市町村の担当者には日常的に相談、協議できるような関係作りをしています。認知症キャラバンメイトの講師として職員を派遣したり、枚方市グループホーム連絡会や枚方市介護支援専門員連絡協議会等にも参加しています。地域包括支援センターからも運営推進会議に参加してもらっています。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制					
7	14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	「樹の実だより」にて毎月行事案内や利用者様の様子を知らせています。変化があった時には電話で伝えています。金銭管理について基本的には立替制度をとっています。やや高額の出費のあるときは連絡して承諾を得ており、個別の出納ノートに記入し、家族の来訪時に確認してもらっています。職員の異動については事情を説明しています。		
8	15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	玄関脇に意見箱を設置しています。家族会は年1回を予定しています。家族の来訪時には、ケアマネジャーか施設長、常勤職員のいずれかが面談・対応するよう心がけています。年1回遠方から面会に来られた家族には時間をかけて面談しています。家族の宿泊希望にも対応しています。家族の要望に応じて、職員全員の名前入りの顔写真を掲示しています。		
9	18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	職員の異動や離職は最小限に抑えるように努め利用者や家族に説明しています。また、引き継ぎについてはマニュアルを作成してスムーズになじめるように工夫しています。新しい職員が入る時には便りで家族等への紹介を行っています。ホームの2つのユニットでやむを得ず職員異動が行われていますが、利用者にとってなじみの関係は大切なことで、今後とも異動を最小限にすることが期待されます。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援					
10	19	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	外部研修、内部研修ともに参加する機会を設けています。年間のおおよその計画も立てられていて、どの職員も参加できるように配慮しています。新人研修についてはマニュアルを作成し、活用しています。また研修報告書の提出もあります。伝達講習についても今後更に充実されることが望まれます。		
11	20	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	地域のグループホームの管理者や職員と交流を持っています。近隣の老人保健施設や特別養護老人ホームの相談員との交流もあります。全国認知症グループホーム協議会や大阪認知症高齢者グループホーム協議会、枚方市グループホーム連絡会にも加入しています。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>Ⅱ. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	ホームに1ヶ月の仮入居（体験入居）の機会を設けています。本人がなじめるか、他者との関係性はどうか、家族の意向はどうかなどを踏まえて期間が設けられています。今後は、通所介護や、短期入所導入の検討を予定しており実現されることを期待します。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	職員は利用者とともに調理の準備をしています。調理員としての経験がある利用者より野菜の切り方を教えてもらったりしています。書道の上手な方には歌詞カードを書いてもらったり、より良い関係作りを持ち支え合っています。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	家族の面会時に聴き取ったこと、日頃の関わりの中で知り得たことを大切にして本人の意向の把握に努めて対応しています。入居前の生活歴やなじみの暮らし方、生活環境、心身の状態などを確認するように努めています。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	全職員の意見や気付きを収集し、介護計画を作成しています。アセスメントシート、本人の生活歴、ライフスタイルについての記載事項を参考にし、本人や家族の望む生活を聞き取って計画に取り入れています。作成した介護計画は利用者や家族の同意サインを得ています。職員は毎日申し送りで必要な情報の伝達と確認を行っています。		
16	37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じた見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	介護計画については3ヶ月から6ヶ月ごとに見直しを行っています。目標については、日々の記録や必要に応じたミーティングでの話し合い、利用者の状態の変化や状況、家族や利用者の要望に応じて見直しています。アセスメント記録、カンファレンス記録、モニタリング記録や見直された介護計画書もあります。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
3. 多機能性を活かした柔軟な支援（事業所及び法人関連事業の多機能性の活用）					
17	39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々 の要望に応じて、事業所の多 機能性を活かした柔軟な支援 をしている	同法人保育園のバザーや地域 のお祭りへの参加、老人会 のサロンへの協力を行い、ま た枚方市立の会館で作品展 の参加も企画しています。 通所介護やショートステイに ついては情報収集を行って います。		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域支援の協働					
18	43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大 切にし、納得が得られたか かかりつけ医と事業所の関 係を築きながら、適切な医 療を受けられるように支援 している	週2回全利用者が契約医に よる訪問診療を受けていま す。また、月1回は歯医者 の往診があります。利用者 家族の希望する外部受診に ついては、家族の都合がつか ない場合は職員が同行して います。ホームには非常勤 看護師も介護職員として兼 務しています。協力診療所 の医師や看護師に24時間 オンコールにて状態の変化 の報告や相談を行い、往診 や緊急時の対応は確保して います。		
19	47	○重度化や終末期に向けた 方針の共有 重度化した場合や終末期の あり方について、できるだけ 早い段階から本人や家族等 ならびにかかりつけ医等と 繰り返し話し合い、全員で 方針を共有している	ホームでは看取りの指針を 作成しています。これまで に看取りを経験し、職員体 制や家族との一体化した支 援、医療機関との対応や打 ち合わせを繰り返しました。 看取りの後、職員にアンケ ートを実施した中で課題も 見つかかり、今後には活か していく予定です。		



外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1) 一人ひとりの尊重					
20	50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	職員一人ひとりが勉強会やミーティングの際にプライバシーに関する意識の向上を図り、また、日々の介護の場面でも利用者を尊重した対応を心がけています。誇りやプライバシーには注意を払い、言葉使いへの注意を心がけています。非常勤職員も含めて秘密保持に関する誓約書をとっています。		
21	52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	一日の日課は決まっていますが、利用者の日々の体調や希望に合わせて過ごせるように支援しています。できるだけ個別性に配慮した支援を行っています。 巡回図書を利用し、趣味の本や小説などの本を借りています。また週1回の手芸クラブでも利用者は力量を発揮しています。利用者一人ひとりの個性を活かした支援を行っています。		
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	食材は一括購入しています。ホーム内にて大きなテーブルを囲み、利用者と共に調理しています。週1回はみんなで考えたメニューも登場します。その際は食材も一緒に買いに行き楽しんでいます。野菜の皮むき、もやしの根とりなど男性利用者も参加しています。職員も一緒に食べながら見守っています。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
23	57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	入浴については、週3回としています。時間は14時から18時までとなっていて、できるだけ要望に応じて入浴できるよう努めています。また利用者がゆったり入浴を楽しめるよう支援しています。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	書くことの好きな方には一緒に歌詞を書いたり、もらったり、ピアノが弾ける方にはお願いしたり、調理の好きな方には味付けを教えるもらったりしています。手芸クラブも始めて、押し絵や貼り絵を作ったり、お互い教え合う等楽しんでいます。枚方市立の会館へ作品を発表する企画もあります。手芸クラブは希望の方が参加しています。		
25	61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	ホームの周辺は田んぼが広がっています。希望者は毎日1回散歩ができるよう支援し記録しています。毎日のように散歩に出かけることが楽しみになっています。時々喫茶店や買い物、ドライブにも出かけています。校区小地域のネットワーク事業の「サロン」に参加したり、隣接保育園の行事（バザー、ふれあい動物園等）にも参加しています。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	昼間玄関からの出入りは自由で、鍵はかかっていませんが、2階の出入り口には鍵がかけられています。管理者や職員は鍵をかけることの弊害を理解しており、利用者の危険回避のために、やむを得ない状況もある現実の中で、施錠しない方法について検討中です。	○	今後も2階出入り口等に鍵をかけないケアの取り組みを検討されることが求められます。
27	71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	災害時のマニュアルは作成しています。消防訓練の実施や避難訓練は年間の予定を立て行っています。地域への協力要請、非常時の飲料水や非常食の備蓄を今後も確保し、定期的に点検することが望まれます。		
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	利用者一人ひとりの食事の摂取量や水分摂取量はチェックシートを作成して把握しています。また栄養バランスについては食材業者の管理栄養士が立てたものを利用しています。食事は利用者のペースで摂れるよう配慮し、さりげない支援をしています。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり (1) 居心地のよい環境づくり					
29	81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	リビングは広々として採光も明るく、保育園児の遊ぶ姿を見たり、田園風景が見渡せ、四季折々が楽しめます。お風呂やトイレ、リビングもバリアフリーとなっていて、車椅子対応のトイレも設置しています。玄関にはベンチを置き、廊下には作品が飾られて季節感もあります。観葉植物やソファもゆったりとくつろげるよう配置されています。		
30	83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	各居室からはベランダや芝生の庭に出られるようになっており、利用者自身で洗濯物を干すことが可能です。部屋にはタンス、ベッドが用意されていて、洗面所もついています。家具や仏壇、写真、ぬいぐるみ、椅子、敷物等々、それぞれ個性的で生活感がある居室になっており、居心地の良さも工夫されています。		